

2026年3月期 第3四半期決算短信【日本基準】(連結)

2026年2月9日

上場会社名	SWCC株式会社	上場取引所	東
コード番号	5805 URL https://www.swcc.co.jp		
代表者	(役職名) 代表取締役 CEO 社長執行役員 (氏名) 小又 哲夫		
問合せ先責任者	(役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 松原 玲子	TEL	044-223-0530
配当支払開始予定日	—		
決算補足説明資料作成の有無	有		
決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	202,086	13.4	19,563	17.4	18,833	165.6	12,756	64.6
	178,234	12.5	16,660	78.2	7,089	△22.7	7,748	22.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 14,032百万円 (78.0%) 2025年3月期第3四半期 7,885百万円 (1.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 430.99	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	262.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 211,318	百万円 100,619	% 43.5
2025年3月期	210,970	92,130	39.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 91,897百万円 2025年3月期 83,659百万円

(注) 2026年3月期中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度における各数値については、確定後の数値を反映しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 —	円 銭 86.00	円 銭 136.00
2026年3月期	—	90.00	—		
2026年3月期(予想)				110.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益	
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	270,000	13.5	26,000	24.2	25,000	121.8	16,000	40.3	540.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

新規 一社 (社名) 一、 除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	30,826,861株	2025年3月期	30,826,861株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,213,090株	2025年3月期	1,254,575株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	29,597,544株	2025年3月期3Q	29,553,348株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 研究開発活動	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループでは、2024年5月に、2021年11月に公表した中期経営計画に足元の事業環境の変化を織り込んだ「Change & Growth SWCC 2026 ローリングプラン2024」を策定し、事業を進めてまいりましたが、特に、国内電力インフラ市場が当初の想定を上回る活況を示したことが大きく影響し、2024年度において前倒しで中期経営計画の目標値を達成しました。

2025年4月からは、新たな経営体制のもと、2025年3月にグループ入りした㈱TOTOOKUとのシナジー効果も織り込みつつ、2030年に向けた「ありたい姿」の実現を目指す次期中期経営計画の策定に取り組んでおります。本計画は、2026年2月27日に公表を予定しております。

当社グループを取り巻く事業環境は、米国の関税政策を含む各国の経済政策の動向、主要原材料である銅価格の高騰、為替相場の変動および国際情勢の不安定化などを背景に、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

国内の建設関連市場では、働き方改革の進展に伴う人手不足や資材価格高騰の影響が引き続き見られるものの、データセンター・半導体工場を中心とした建設需要は底堅く、第3四半期に入り回復しました。さらに、国内電力インフラ向け市場では、変電所の老朽化対応や送配電網強化に向けた継続的な投資が進んだことから、堅調に推移しました。また、AI・半導体関連市場においては、生成AIの急速な普及拡大や次世代技術開発への投資が活発化したことから、データセンター向けを中心に大幅に需要が拡大しました。一方、自動車関連市場では、米国の関税政策や各地域の景気動向の影響があるなか、世界全体の自動車販売台数は、上期には緩やかな回復が見られたものの、下期に入り減速傾向となりました。

このような環境のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、前年同期に対して全体の出荷銅量は減少した一方で銅価が上昇したことに加え、電力インフラおよび通信ケーブル事業が好調に推移したことにより、売上高2,020億86百万円（前年同四半期対比13.4%増）、営業利益195億63百万円（前年同四半期対比17.4%増）、経常利益は188億33百万円（前年同四半期対比165.6%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は127億56百万円（前年同四半期対比64.6%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(エネルギー・インフラ事業)

国内の建設関連向けでは、人手不足や資材価格の高騰の影響により、依然厳しい状況が続きましたが、第3四半期に入り回復してまいりました。こうした環境のもと、各種原価低減および生産性向上施策を推進し、着実に収益を取り込みました。電力インフラ向けでは、変電所の老朽化対応や送配電網強化に向けた継続的な投資が進む中、工事件数の増加やSICONEX®の増産投資効果により収益が拡大し、利益率も改善しました。これらの結果、当事業における売上高は956億23百万円（前年同四半期対比2.1%減）、営業利益は140億80百万円（前年同四半期対比8.5%増）となりました。

(通信・コンポーネンツ事業)

通信ケーブル事業では、米国データセンターの活発な投資を背景に、e-Ribbon®の需要が下期に向け大幅に拡大しました。半導体向けは、生成AIの普及を背景とした半導体市況が好調に推移し、コントラクトプロープは下期に入り中国向けを含め大幅増産となりました。一方で、汎用巻線については、需要低迷が続いたほか、ワイヤハーネスについては、中国市場において家電向け補助金政策の効果剥落により需要が減速し、厳しい状況が続きました。これらの結果、当事業における売上高は1,016億89百万円（前年同四半期対比34.0%増）、営業利益は54億93百万円（前年同四半期対比39.9%増）となりました。

(その他)

売上高は47億73百万円（前年同四半期対比2.6%増）、営業利益は8億8百万円（前年同四半期対比2.6%増）となりました。

注：上記、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含めておりません。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,113億18百万円（前連結会計年度末総資産2,109億70百万円）で、主に現金及び預金が減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産、棚卸資産および投資有価証券が増加したため、前連結会計年度末より3億48百万円増加しております。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,106億99百万円（前連結会計年度末負債合計1,188億40百万円）で、主に借入金および未払法人税等が減少したため、前連結会計年度末より81億40百万円減少しております。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,006億19百万円（前連結会計年度末純資産921億30百万円）で、主に利益剰余金が増加したため、前連結会計年度末より84億88百万円増加しております。その結果、DEレシオは当第3四半期連結会計期間末で56.9%となりました。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、16億19百万円であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年11月12日付「2026年3月期 業績予想の修正（上方修正）および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,449	11,799
受取手形、売掛金及び契約資産	44,782	47,459
電子記録債権	9,452	9,411
商品及び製品	15,436	15,119
仕掛品	9,931	11,778
原材料及び貯蔵品	7,657	7,756
その他	3,824	7,525
貸倒引当金	△16	△18
流動資産合計	110,518	110,833
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,185	16,390
機械装置及び運搬具（純額）	14,007	12,553
土地	21,295	21,185
その他（純額）	3,743	4,193
有形固定資産合計	55,231	54,324
無形固定資産		
顧客関連資産	15,890	15,371
技術資産	5,277	5,079
のれん	7,583	7,267
その他	2,065	2,561
無形固定資産合計	30,815	30,280
投資その他の資産		
投資有価証券	6,207	7,779
繰延税金資産	710	423
退職給付に係る資産	6,211	6,425
その他	3,321	2,908
貸倒引当金	△2,045	△1,655
投資その他の資産合計	14,404	15,880
固定資産合計	100,452	100,485
資産合計	210,970	211,318
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,913	23,862
電子記録債務	4,181	4,277
短期借入金	46,965	33,931
未払金	7,372	5,123
未払法人税等	8,051	4,857
役員賞与引当金	51	48
その他	7,538	6,948
流動負債合計	98,075	79,048
固定負債		
長期借入金	7,199	17,810
繰延税金負債	6,960	7,288
再評価に係る繰延税金負債	3,604	3,604
退職給付に係る負債	2,048	1,877
役員退職慰労引当金	7	10
その他	942	1,058
固定負債合計	20,764	31,651
負債合計	118,840	110,699

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,221	24,221
資本剰余金	6,234	6,382
利益剰余金	42,088	49,615
自己株式	△1,972	△1,884
株主資本合計	70,571	78,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	720	1,775
土地再評価差額金	5,243	5,243
為替換算調整勘定	4,790	4,251
退職給付に係る調整累計額	2,333	2,291
その他の包括利益累計額合計	13,087	13,562
非支配株主持分	8,470	8,722
純資産合計	92,130	100,619
負債純資産合計	210,970	211,318

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	178,234	202,086
売上原価	148,858	165,435
売上総利益	29,376	36,651
販売費及び一般管理費	12,715	17,088
営業利益	16,660	19,563
営業外収益		
受取利息	44	29
受取配当金	147	127
固定資産売却益	25	302
貸倒引当金戻入額	—	390
為替差益	20	—
その他	238	299
営業外収益合計	476	1,148
営業外費用		
支払利息	400	465
為替差損	—	15
持分法による投資損失	6,630	275
資金調達費用	39	290
貸倒引当金繰入額	2,374	—
その他	603	831
営業外費用合計	10,047	1,878
経常利益	7,089	18,833
特別利益		
投資有価証券売却益	723	164
固定資産売却益	7,394	—
関係会社出資金売却益	174	—
特別利益合計	8,292	164
特別損失		
事業構造改善費用	79	5
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	79	5
税金等調整前四半期純利益	15,303	18,992
法人税等	6,924	5,394
四半期純利益	8,378	13,597
非支配株主に帰属する四半期純利益	630	841
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,748	12,756

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	8,378	13,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△654	1,118
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	165	△815
退職給付に係る調整額	△37	△41
持分法適用会社に対する持分相当額	31	173
その他の包括利益合計	△493	434
四半期包括利益	7,885	14,032
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,253	13,231
非支配株主に係る四半期包括利益	632	801

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,875百万円	4,902百万円
のれんの償却額	—	315

(セグメント情報等の注記)

a. セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	エネルギー・ インフラ事業	通信・コンポー ネンツ事業				
売上高						
一時点で移転 される財	93,431	75,887	3,672	172,991	—	172,991
一定の期間に わたり移転さ れる財	4,261	—	982	5,243	—	5,243
顧客との契約か ら生じる収益	97,692	75,887	4,654	178,234	—	178,234
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	97,692	75,887	4,654	178,234	—	178,234
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	130	32,325	9,122	41,578	△41,578	—
計	97,822	108,213	13,777	219,813	△41,578	178,234
セグメント利益	12,973	3,925	787	17,687	△1,026	16,660

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネットワークソリューション、物流事業、リサイクル等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,026百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△703百万円が含
まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発に関わる費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	エネルギー・ インフラ事業	通信・コンポー ネンツ事業				
売上高						
一時点で移転 される財	90,442	101,689	3,666	195,798	—	195,798
一定の期間に わたり移転さ れる財	5,181	—	1,107	6,288	—	6,288
顧客との契約か ら生じる収益	95,623	101,689	4,773	202,086	—	202,086
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	95,623	101,689	4,773	202,086	—	202,086
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	267	24,604	7,969	32,842	△32,842	—
計	95,891	126,294	12,743	234,929	△32,842	202,086
セグメント利益	14,080	5,493	808	20,382	△818	19,563

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネットワークソリューション、物流事業、リサイクル等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△818百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△745百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発に関わる費用であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する情報

当社グループの報告セグメント区分につきましては、従来、「エネルギー・インフラ事業」、「通信・産業用デバイス事業」、「電装・コンポーネンツ事業」の3区分としておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「エネルギー・インフラ事業」および「通信・コンポーネンツ事業」の2区分に変更いたしました。

この変更は、好調に推移している「エネルギー・インフラ事業」に次ぐ、第2の成長の柱の確立を目的としたものであり、旧「電装・コンポーネンツ事業」と旧「通信・産業用デバイス事業」に、前連結会計年度にグループ入りした㈱TOTOKUを統合し、新たに「通信・コンポーネンツ事業」として再編したものです。

なお、前第3四半期連結累計期間における「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報」に関する情報については、当該変更後の区分に組み替えて表示しております。

b. 関連情報

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	その他	合計
164,679	13,214	341	178,234

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域別に分類しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	その他	合計
179,227	20,647	2,211	202,086

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域別に分類しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。